

教員・学生による推薦図書

※推薦図書は図書館で貸出できます。

教員〈高松〉

精神分析入門

▶フロイト著、高橋 義孝、下坂 幸三翻訳（新潮文庫）

人間とは何か。20世紀の初頭、誰もが関心を持っているこの課題を、フロイトは自己を分析することから始めて、深く探求していった。1915年から17年までウィーン大学で一般向けに行った講義の記録がこの本の内容である。フロイトは言う。人は自分自身が何を考えているのか、実はよく知らない、言い間違えた時、言い間違えたことこそが自分の心の中である、と。彼は精神分析という大きな学問体系を作り上げた。精神分析は20世紀の後半に批判を受け一時退潮した。しかし21世紀に入ってその価値が再び見直され、高い評価を取り戻している。

校長 八尾 健

セロニアス・モンクのいた風景

▶村上 春樹（編訳）（新潮社）

セロニアス・モンクはジャズという音楽に圧倒的な影響を与えてきたが、結局彼のような音楽を作った人は他に一人もいなかった。彼の音楽は、50年以上にわたって魅惑的な謎であり続けている。この本は、村上春樹がモンクに関するいくつかの文章を翻訳したものに自身のエッセイをあわせたもの。充実した本だが、これは謎解きの書では全くない。読み終わってもう一度モンクを聞けば、謎も魅惑もいっそう深まっていることに気づくはず。

一般教育科教員 高橋 宏明

このミステリーがすごい! 四つの謎

▶安生 正、乾 緑郎、海堂 尊、中山 七里（宝島社）

4人の作者名を見てピンときた人も多いのではないのでしょうか。昨年末のテレビ放送を見た人もおられると思います。映画やドラマ化された小説はたくさんありますが、私はやっぱり活字で読む方が好きです。音や映像によって多くの情報が得られるのは間違いないのですが、どこか集中して作品に入り込めません。その点、読書であればどっぷりとその世界に入り込むことができます。いつもは映像化された作品だけを楽しんでいる人も、たまには読書をしてみてはいかがでしょうか。

機械工学科教員 吉永 慎一

【エッセンシャル版】マネジメント 基本と原則

▶（著）P.F.ドラッカー（編訳）上田 惇生（ダイヤモンド社）

2009年12月に発売された“もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら”は、累計発行部数は200万部を超えるベストセラーとなりました。当時AKB48に所属していた前田敦子が主演を務めて映画化され、マスコミなどでも取り上げられ、皆さんも耳にしたことがあるかと思いますが、これらのオリジナルが本推薦図書“マネジメント”です。本校を卒業し最終的には会社に属する学生の皆さんが「組織とは」「会社とは」、そしてひいては「働くとは」を考えるきっかけになれば幸いです。

電気情報工学科教員 山本 雅史

伝わるデザインの基本

よい資料を作るためのレイアウトのルール

▶高橋 佑磨、片山 なつ（技術評論社）

人に伝えることを目的とした資料（プレゼンスライド、講演ポスター、等々）を作るとき、あなたはどんな点に気を配っていますか？この本は、見る人にとって、まともなよい、読みやすい／見やすい資料作りの基本ルールをていねいに説明した良書です。ただ目立てばよい、あるい

は内容があればよいと考えているあなた、主張を伝えるという本来の目的を損ねた資料作りをしていませんか。

機械電子工学科教員 平岡 延章

教員〈詫間〉

サイエンス・インポッシブル—SF世界は実現可能か

▶ミチオ カク（日本放送出版協会）

タイムマシンや瞬間移動は実現可能か？理論物理学者である筆者がSFに出てくる技術などを不可能なレベルごとに分けて解説した科学読み物である。現在の技術または理論のどちらによって不可能なのか。技術者を目指す皆さんも一読して、未知なる技術や理論を探求して下さい。

一般教育科教員 東田 洋次

稲盛和夫の哲学:人は何のために生きるのか

▶稲盛 和夫（PHP 研究所）

2015年2月に稲盛和夫氏の著書が両キャンパスに各100冊寄贈されました。他の教育機関にも寄贈されていると推察されますが、単価1,500円としてもかなりの金額です。稲盛氏は1959年に京セラ設立、1984年にKDDI設立、1997年には臨済宗から得度しています。この本は真の生き方を教えてくれます。

通信ネットワーク工学科 草間 裕介

The Last Lecture

▶Randy Pausch（Hachette Books）

The Last Lecture is a book written by a computer science professor from Carnegie Mellon University who was diagnosed with terminal pancreatic cancer. The book is about the last lecture that he was asked to give at the university. The lecture was not about cancer or dying. It was about "How to Fulfill Your Childhood Dreams". In it, He stresses the importance of living life to the fullest because you never know when it may be taken from you. In the end he tells that the lecture was not for the faculty but for his own children who would one day see it when they were older.

This is the recommended reading I would like to submit to the library...

電子システム工学科 Johnston, Robert Weston

1歳から100歳の夢

▶日本ドリームプロジェクト（いろは出版）

タイトル通り、1歳から100歳までの世代の異なる100人の100個の夢が素敵な笑顔の写真とともに詰まった一冊。あなたは幼かった頃の夢を覚えていますか？今の夢は何ですか？しっかりと夢を追いかけたい人ってやっぱり羨ましくないですか？同世代のページを開き、共感したり、感心したり、励まされたり、親の世代も夢を持ってるんだあとと再確認したり、とにかく本を開く度に前向きな気持ちにさせてくれます。夢がなかなかみつけれないと悩んでいる人にぜひ手に取って欲しい本です。

情報工学科教員 金澤 啓三

学生〈高松〉

夢をかなえるゾウ

▶水野 敬也（飛鳥新社）

この本はガネーシャというインドの神様がでてきて成功のためのノウ

電気情報工学科5年 岡田 修一郎

学生〈読間〉

いつか猫になる日まで

▶ 新井 素子 (集英社)

僕は「いつか猫になる日まで」という本を借りました。物語は、主人公がまっ白な部屋でなにかをずっと待っていると女神が現れて道ができたところで夢から覚めることから始まります。そこからいろいろな話が展開されていきますが、まだ少ししか読んでないので、早く次の章を読みたいな、と考えることもしばしばあります。まだまだ読んでいないのですが、冒頭から不思議な雰囲気になりました。どんどん読み進めていくと話の冒頭の女神が何なのか、女神が差し出した道は何なのか、が分かるのかもしれませんが。猫になる日がくるのかな、と若干の期待や、物語を読んでみようかな、という軽い気持ちもあって読もうと思いましたが、全てを読み切るには時間がかかりそうです。章ごとに分けられているので、少しずつ読むにはいいのかもしれませんが。

情報工学科2年 楠 晃平

クビキリサイクル:青色サヴァンと戯言遣い

▶ 西尾 維新 (講談社ノベルス)

絶海の孤島に隠れ棲む財閥令嬢が分野の違う5人の「天才」の女性を招待した。そこで起きた密室首なし殺人事件を主人公である「ぼく」と「戯言遣い」のいーちゃんと友人の工学の天才美少女「青色サヴァン」こと玖渚友は解決できるのか。

独特の表現方法が面白いのでぜひ読んでみてください。私の好きなセリフは「上には上があるが頂点には下しかない」です。

通信ネットワーク工学科3年 岡田 清花

世界から猫が消えたなら

▶ 川村 元気 (マガジンハウス)

動物が登場する物語といえば、ファンタジーか感動ものだと思います。この話には両方の要素が入っています。

余命半年、短ければ1週間という診断を告げられた主人公のもとへたらテンションの高い悪魔がやって来ます。その悪魔と「世界から何かひとつ消すことで、1日の命がもらえる」という取引をします。このあたりはファンタジーです。世界から何を消すか?チョコレート、電話、初恋のひとつが好きだった映画、父親を思い出す時計、母との思い出の猫。世界からひとつ何かが消えることで何がどれだけ変化するのか。命と引きかえにしても消せないものは何なのか?その問いに猫が大切な役割を果たします。これは涙を流すような感動ではなく、深く心に刺さる感動だと思います。ぜひ一読を。

ところで、著者川村元気さんは、作家ではなく映画プロデューサーです。「告白」、「モチキ」、「おおかみこどもの雨と雪」などを製作しています。有名なものばかりなので、タイトルを聞いてピンとくる人、実際に映画を見たことがある人も多いのではないのでしょうか。映画プロデューサーが書いた本。興味がある方はぜひ読んでみてください。

情報工学科4年 小出 友子

間違いだらけの物理学

▶ 松田 卓也 (学研教育出版)

みなさんは、物理学が好きでしょうか?我が校のカリキュラムでは、物理学を毎年少しずつ学んでいきます。初めはおそらく中学校で理科第1分野から、力や電気について学んできたと思います。

この本は、物理学に対する思い込みを正して、物理学への興味をかき立てる内容となっています。例えば飛行機が飛ぶ原理に対する誤解や電流を水流に例えた説明の問題点などです。いくつかは教科書の記述を引っ繰り返すようなものもあります。少し難しい話がありますが、理解できれば物理学の先生を言い負かすことができるかもしれません。苦手を克服する足がかりとして、読んでみてはいかがでしょうか。

情報工学科卒業生 金丸 裕亮

ハウを教え「僕」を変えていくというものです。ガネーシャは「僕」に様々な課題を与えます。それは「靴をみがく」にはじまり「会った人を笑わせる」や、「トイレ掃除をする」などと「僕」には成功へのつながりが見えないものばかりでしたが、それらはすべて人間が持つ意識や習慣の特徴や思考回路、発想らをガネーシャが解説してくれるので後で納得し「なるほど」と思われます。これに記されているのはエジソン、ステーブジョブズ、カーネルサンダースらの本当にあった事例なので、とても真実みがあります。誰が読んでもこの本は人生の参考本となると思うが、特に就職を間近に控えている五年生や専攻科生にオススメしたいです。

機械工学科2年 長野 哲也

世界の傑作戦車50 戦場を駆け抜けた名タンクの実力に迫る

▶ 毒島 力也 (SBクリエイティブ:サイエンス・アイ新書)

私がオススメする本は、「世界の傑作戦車50 戦場を駆け抜けた名タンクの実力に迫る」です。その中で特に推したい戦車はドイツの38(t)軽駆逐戦車 Hetzer です。愛らしいフォルムと高い機動性を持ち、一部では戦車界のアイドルと呼ばれています。また、傾斜装甲を採用しており、すばらしい避弾性能を有しています。しかし、車体が小さいため乗り心地が悪く、乗組員には不評だったそうです。この戦車には、48口径7.5cm砲を乗せているため、貫通力にすぐれ、攻撃にも役に立っていたと思います。現在でもイスラエルなどで活躍しているそうなので良かったら見に行ってください。

私が紹介した戦車の他にも、第二次世界大戦最強と呼ばれるT-34・Tiger1など有名な戦車が載っています。是非読んでみてください。

機械電子工学科2年 上井 圭人

20代のうちに知っておきたい100の黄金ルール

▶ 大塚 寿 (PHP 研究所)

就職した時の二十代は種まき期である。と著者は書いています。そのような時期の仕事が長続きして、成功する法則をまとめている本です。会社や社会での過ごし方の秘訣やどう行動すればいいのか、どのような考え方をもち、仕事を続けていくかなど、多くの視点から書かれています。就職はまだ先だから、と考えている人でも、社会についてのことも多く書かれているので学生時代に参考になる考え方も多く示されていると思います。社会勉強の参考となるような本なので是非読んでみてください。

機械工学科3年 谷本 百合菜

それでも僕は夢を見る

▶ 水野 敬也 (文響社)

夢は叶うかもしれないし、叶わないかもしれない。むしろ叶わないほうが多いだろう。失敗して何度も何度もくじけるのはつらい。それでも、夢を持つことをやめてしまったら、何かに向けて努力することをやめてしまったら、絶対に叶わない。君は人生に何も残せなくなる。たとえ叶わない夢でも、夢を見ることで、うれしかったり、悲しかったり、悔しかったり…。君は生きているということを実感できる。それは逆説的に、生きているというのは夢を見ることなのではないだろうか。私はこれを読んでそう感じた。この本は、鉄拳というパラパラマンガを制作している人が画を書き、文章が苦手な人でも手軽に10分ほどで読める本です。是非一度手に取って見てください。

電気情報工学科4年 山口 晃生

キャベツ炒めに捧ぐ

▶ 井上 荒野 (ハルキ文庫)

ある商店街の総菜屋「ここ屋」で働く三人の女性が中心の物語です。六十歳を超える彼女達はそれぞれ大人の事情を抱えています。三人の周りで起こる日常の出来事とそれぞれの人生が季節の食べ物とともに描かれています。登場する食べ物どれも本当においしいように描かれていて食欲がそそられると思います。しかし、食べ物のほんわかとした雰囲気とともに描かれるのは幸せな時間だけではなく、ここで描かれるのは胸を締めるとような苦しい出来事と切ない想いです。ぜひ一度手に取って彼女達の人生に触れてみてください。人生のままならなさと、食べて生きる力強さを感じられると思います。